

Quality is more than a word

ESPEC



第 69 期

## 中間株主通信

---

2021年4月1日から2021年9月30日まで



# 株主のみなさまへ



代表取締役社長 いしだ まさあき  
**石田 雅昭**

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

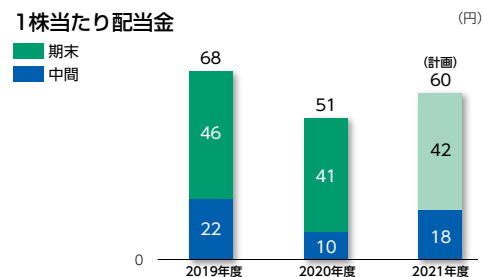
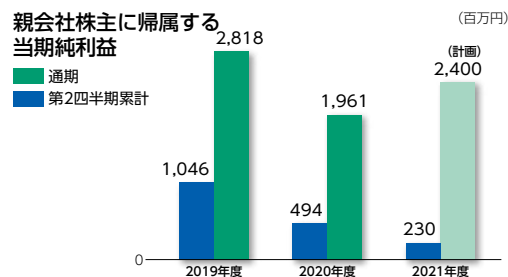
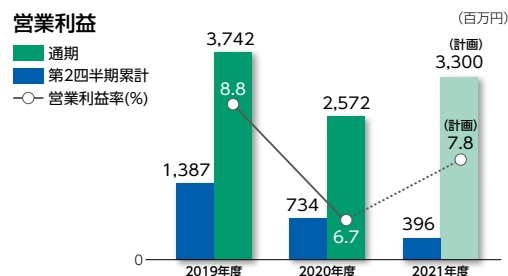
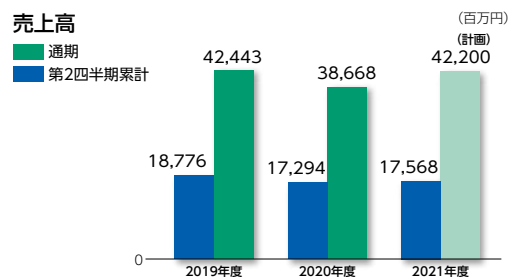
2021年度 第2四半期累計期間(2021年4月1日～9月30日)の日本経済は、中国や米国経済の回復に加え新型コロナウイルスのワクチン接種拡大により、経済活動の正常化が進みました。しかしながら原材料・資材価格の高騰や半導体・電子部品不足による経済への影響が懸念される状況となりました。

当社の主要顧客におきましては、社会のデジタル化や脱炭素を背景にエレクトロニクス関連の投資が好調に推移するとともに、自動車関連の投資も堅調に推移いたしました。当社の取り組みといたしましては、投資の拡大が期待できる5G・IoTに関する市場や自動車の自動運転・電動化に関する市場を中心に活動を強化し、受注は好調に推移いたしました。製造面においては電子部品の調達に遅れが生じる中、代替調達や設計変更など対策を講じてまいりました。

こうした結果、連結業績といたしましては、受注高は前年同期比56.7%増の26,569百万円と大幅に増加いたしました。売上高は部品不足による製品納期の長期化などの影響を受け1.6%の増加にとどまりました。利益面につきましては、販管費の増加により営業利益は46.0%減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は53.4%減少となりました。中間配当金につきましては、1株当たり18円とさせていただきます。

なお、2021年10月29日に当第2四半期の連結業績予想を下方修正いたしました。通期の連結業績予想および配当予想は8月公表値から変更しておりません。部品不足の長期化が懸念される状況ではありますが調達先の拡大や代替部品の活用を進め、売上高42,200百万円、営業利益3,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,400百万円を目指してまいります。期末配当金は1株当たり42円、年間配当金は60円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



## オンラインを活用したプロモーション・サポートサービスを強化 お客さまのご要望に的確にお応えし開発業務を支援

コロナ禍において当社はオンラインを活用した新しいプロモーション・サービス活動を推進し、顧客価値の向上を目指しています。今回の特集では、Withコロナにおける営業・サービス活動を紹介します。

### 営業活動

#### 商談への技術者同席で技術的な対応を強化

コロナ禍において対面での商談が難しくなる中、Web商談への技術者の同席を推進しています。技術的な質問にその場で回答し、カスタム性の強い装置の提案につなげるなど技術的な対応を強化しています。さらに、商談の精度を高めるための新ツールの導入や、オンライン展示会への出展、動画や特設サイトの開設などWebコンテンツの充実にも取り組んでいます。

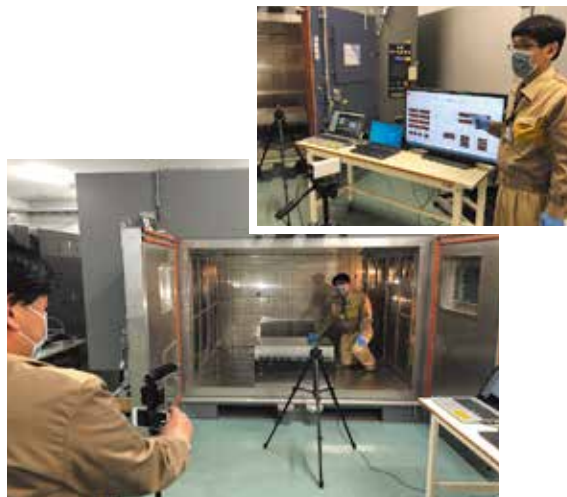


インタラクティブホワイトボード(電子黒板)を新たに導入  
装置の図面をボードに映し、直接書き込んだ内容をお客さまと共有

### 受託試験サービス

#### 試験の計画から実施まですべてリモート対応

当社の試験所を利用いただく受託試験サービスでもWebシステムや自社開発の槽内カメラを活用し、来社いただくことなく試験の計画から実施まですべてリモートで対応しています。昨年4月の運用開始から試行錯誤を繰り返しながらサービス向上に取り組んでおり、お客さまの利用も増加しています。また、2021年1月より毎月Webセミナーを開催し、試験事例など技術情報を提供しています。



お客さまにリモートで試験方法を説明している様子  
来社いただくことなく試験装置や試験方法をご確認いただけます

## アフターサービス

### 装置トラブル・装置管理のサポートを強化

お客様のテレワークに対応した「在宅オンラインサポート」(装置の遠隔監視、トラブル発生時の自動通報機能)や点検結果をわかりやすく報告する「動画報告サービス」などITを活用したサービスを強化しています。また、お客様に最も近い立場にあるサービスエンジニアの役割がこれまで以上に重要となる中、独自の「アフターサービス認定制度」により国内外のサービス品質の向上を図っています。



フィールドエンジニアリンググループのメンバー

### お客様向けWebセミナーを開催

Webセミナーを定期的に行い、顧客接点の強化に努めています。多数質問をいただくなどお客様との双方向のコミュニケーションにつながっています。



社員より5G市場の試験動向を説明  
(テュフズードジャパン株式会社と共同開催)

### SNS「LinkedIn」を開始

2021年10月、世界最大級のビジネス特化型SNS LinkedInに公式アカウントを開設しました。和英を併記し製品やイベント情報を積極的に発信しています。





## 環境への取り組み

### 企業向け生物多様性保全セミナーを開催



2021年11月、神戸R&Dセンターにて企業向け環境セミナー「企業敷地で実践する生物多様性」を開催し、生物多様性保全を推進される企業担当者様21名が参加されました。セミナーでは「エスペックバンビの里」(社員が在来苗木を植樹し育てた森、2つの池と小川を造成したビオトープ、六甲北部の在来種による屋上草地)の見学をまじえながら、企業敷地で実践する生物多様性保全活動のポイントや成果を解説しました。



「エスペックの森」の見学

### 神戸R&Dセンターが全国みどりの工場大賞 2021年度「日本緑化センター会長賞」を受賞



## スポーツ科学分野への貢献

### 空気の薄い高地環境を再現「低酸素トレーニング室」

2021年7月～8月の東京2020オリンピック・パラリンピックではアスリートの活躍が人々に大きな感動をもたらしましたが、当社の技術はスポーツ科学の分野でも貢献しています。当社は、心肺機能を強化する高地トレーニングと同様の効果のある「低酸素トレーニング室」を手がけています。酸素濃度を制御し、標高1,000m～5,000mに相当する低酸素環境を再現できます。国立スポーツ科学センターや日本大学などに納入実績があり、アスリートの育成や研究に使用されています。またフィットネスジムにも実績があり身近なところでも当社技術が活躍しています。



日本大学スポーツ科学部の低酸素トレーニング室  
(QRコードから施設の紹介動画を見ることができます)

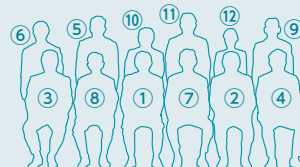


# 経営体制のご紹介

2021年6月開催の第68回定時株主総会で取締役・監査役が選任され、取締役8名(うち社外取締役2名)、監査役4名(うち社外監査役3名)の体制となりました。当社の経営体制と新任取締役・監査役をご紹介します。



- |               |        |
|---------------|--------|
| 代表取締役社長       | 社外取締役  |
| ①石田 雅昭        | ⑦小杉 俊哉 |
| 常務取締役         | 社外取締役  |
| ②島田 種雄        | ⑧柳谷 彰彦 |
| 取締役<br>上席執行役員 | 常勤監査役  |
| ③末久 和広        | ⑨石井 邦和 |
| 取締役<br>上席執行役員 | 社外監査役  |
| ④荒田 知         | ⑩堤 昌彦  |
| 取締役<br>執行役員   | 社外監査役  |
| ⑤浜野 寿之        | ⑪田中 崇公 |
| 取締役<br>執行役員   | 社外監査役  |
| ⑥淵田 健二        | ⑫吉田 恭子 |



## 新任取締役・新任監査役のご紹介



社外取締役 柳谷 彰彦

1981年 4月 山陽特殊製鋼株式会社入社  
2017年 6月 同社 取締役専務執行役員  
2018年 6月 兵庫県立大学 特任教授(現在)  
2019年 1月 同社 フェロー  
4月 大阪大学 招聘教授(現在)

山陽特殊製鋼株式会社の取締役専務執行役員として会社経営に携わりました。また、兵庫県立大学の特任教授、大阪大学の招聘教授として産学連携の研究を推進しています。社外取締役として、これまでの知識や経験を活かして当社経営を監督してまいります。



社外監査役 吉田 恭子

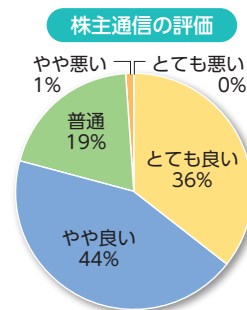
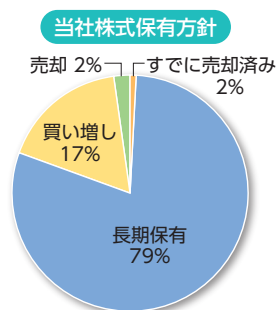
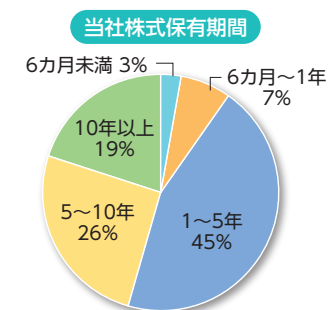
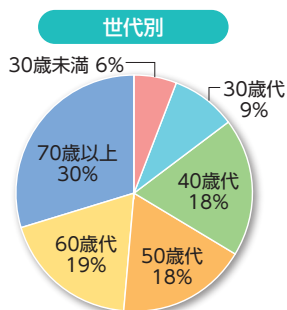
2000年 10月 朝日監査法人入所  
(現・有限責任あずさ監査法人)  
2004年 5月 公認会計士登録  
2005年 7月 税理士登録  
吉田公認会計士事務所開設(現在)  
2019年 2月 大阪有機化学工業株式会社  
社外監査役(現在)  
2021年 5月 米国公認会計士(ワシントン州)登録

朝日監査法人(現・有限責任あずさ監査法人)に入所後、公認会計士・税理士を経て会計士事務所を開設しました。また、2021年5月に米国公認会計士のライセンスを取得しました。専門知識・経験に基づき当社経営の適正な監査に努めてまいります。

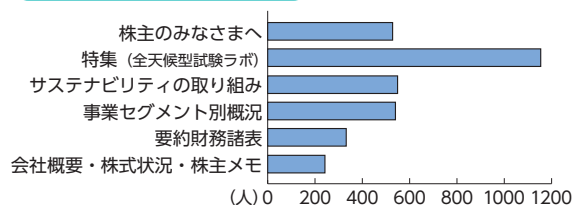
# 株主アンケート結果のご報告

第68期株主アンケートでは、1,958名(男性:74%  
女性:26%、回答率:33%)のみなさまにご回答いただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。みなさまからの貴重なご意見を真摯に受け止め

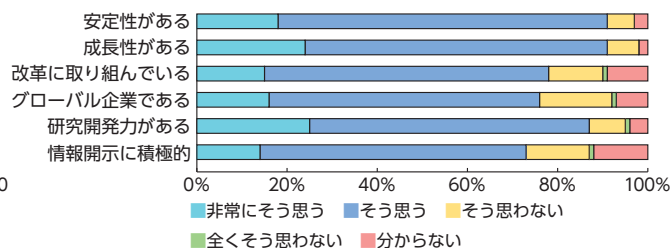
今後のIR活動に活かしてまいります。アンケートについては「結果を詳しく知りたい」とのご要望をいただきました。以下のとおり結果をご報告するとともに、株主さまからの声をご紹介します。



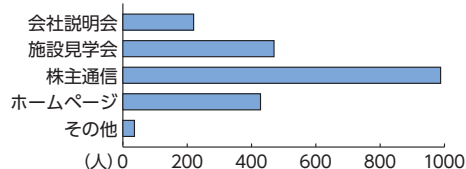
## 株主通信に興味を持った内容 (複数回答可)



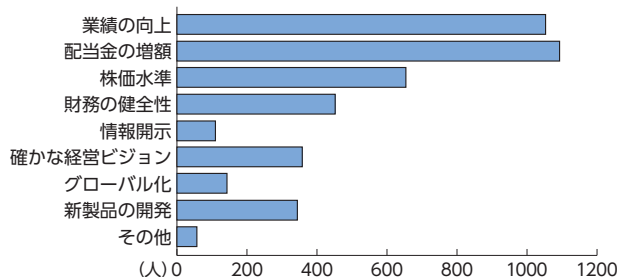
## 当社に対するイメージ



## 充実してほしいIR活動 (複数回答可)



## 長期保有・買い増しに重要なこと (複数回答可)





## 株主さまからの声

### 「全天候型試験ラボ」のお客さまからの反応はどうか？

2021年3月のオープン以降大きな反響があり、自動車や電子部品など国内外のお客さまより見学・デモ試験の要望を多数いただいています。ラボによりお客さまの新技术開発を支援し、先端技術の課題解決に貢献してまいります。

▶QRコードから全天候型試験ラボの紹介動画をご覧ください。



取引先さま見学

### ワクチン保冷庫の開発・無償貸し出しは素晴らしいですね

ワクチンの円滑な接種を支援するため、2021年4月より自治体・医療機関への自社製品の無償貸し出しを行い、40台納入しました(予定台数に達したため6月末に終了)。6月には新製品を発売するなどワクチンのコールドチェーンに貢献する製品・サービスを拡充しています。

無償貸し出し先：京都府福知山市様、兵庫県三田市様、群馬県太田市様など



大阪府羽曳野市様

### 「高度加速寿命試験装置」とはどのようなものですか？

高温・高湿・高圧力のストレスを電子部品に与えて寿命を短時間で評価します。半導体やコンデンサなどの開発用途で海外でも多く使用されています。2018年にはグッドデザイン賞を受賞しました。



### 製品はメーカー各社でどのように使われているのですか？

ホームページの「Close-Up ESPEC」にて、お客さまへのインタビュー記事として当社製品の納入事例をご紹介します。ぜひご覧ください。

掲載企業例：

株式会社GSユアサ様、株式会社長谷工コーポレーション様、ソニーグループマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社様など

▶QRコードから「Close-Up ESPEC」をご覧ください。



### コロナ禍での事業活動や働き方について知りたい

事業活動については特集(p.3-4)でご紹介しています。働き方については、コロナ前から柔軟な働き方を進めてきましたが、コロナ禍ではテレワークの拡大・定着に取り組んでいます。社内アンケートを実施し、コミュニケーション上の課題解決に向けた取り組みも進めています。

### 株主通信には環境配慮の記載があるが、封筒は再生紙などを使用しないのですか？

これまでも環境に配慮した封筒を使用していましたが、環境への負荷をできるだけ抑えるため、今回よりカーボン・オフセット付の封筒へ変更いたしました。

### サステナビリティの取り組みについてもっと知りたい

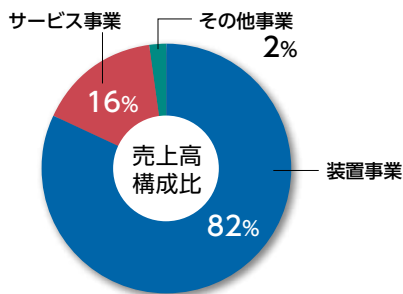
年1回発行のサステナビリティレポートにて持続可能な社会・SDGsに関する考え方や活動をご紹介します。ぜひご覧ください。

▶QRコードからサステナビリティレポート2021をご覧ください。



このほか「技術力のある会社だと感じた」「社会になくはならない事業だと思う」「コロナ禍で大変だが、頑張ってもらいたい」といった温かいお言葉を多数いただきました。今後ともよろしく願いいたします。

# 事業セグメント別概況



## 〈装置事業〉

- 環境試験器
- エナジーデバイス装置
- 半導体関連装置

## 〈その他事業〉

- 環境保全  
森づくり・水辺づくり・都市緑化
- 植物育成装置  
植物工場、研究用育苗装置

## 〈サービス事業〉

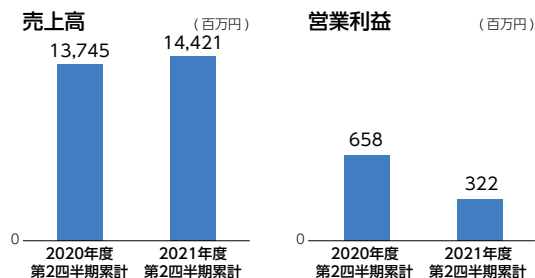
- アフターサービス・エンジニアリング
- 受託試験・レンタル

## 装置事業

環境試験器については、国内市場では汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに受注高は前年同期比で増加しましたが売上高は減少しました。海外市場では、中国、北米、欧州、韓国の売上高は前年同期比で増加しましたが、東南アジア、台湾は減少しました。エナジーデバイス装置については、自動車関連の投資の回復により二次電池評価装置の受注を獲得し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。半導体関連装置については、メモリおよび自動車関連の投資が継続し、前年同期比で受注高は増加しましたが売上高は減少しました。装置事業全体では、前年同期比で売上高は4.9%増加しましたが、営業利益は販管費の増加および原価率の悪化により50.9%減少しました。



5Gの基地局やサーバーなどの開発に用いられるハイパワーウォークインチャンバー

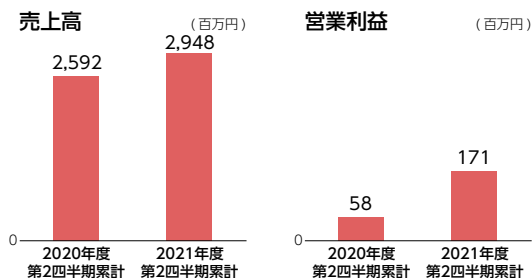


## サービス事業

アフターサービス・エンジニアリングについては、保守契約など予防保全サービスが堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。受託試験・レンタルについては、受託試験において国内が回復するとともに中国も堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。サービス事業全体では、前年同期比で売上高は13.7%増加し、営業利益は195.1%増加しました。



エスベック測試科技(上海)の受託試験所

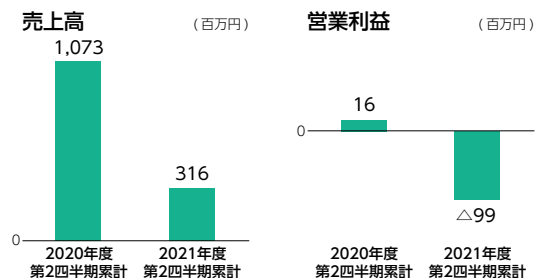


## その他事業

環境保全事業および植物工場事業を中心とするその他事業では、堅調な森づくりや水辺づくりに加え植物工場の受注も獲得し、受注高は前年同期比で増加しました。しかしながら売上高は前年同期に植物工場の大型案件があったため70.5%減少し、利益面については99百万円の営業損失となりました。



神戸R&Dセンター 技術開発棟の屋上草地(左)  
社員が約3万本の在来種を植樹し育てたエスベックの森(右)



# 要約財務諸表

## 連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前第2四半期末 2020年9月30日	前年度末 2021年3月31日	当第2四半期末 2021年9月30日
<b>資産の部</b>			
流動資産	37,953	40,182	37,692
固定資産	16,489	18,424	19,268
有形固定資産	11,705	12,368	12,295
無形固定資産	658	787	1,312
投資その他の資産	4,125	5,269	5,660
<b>① 資産合計</b>	<b>54,442</b>	<b>58,607</b>	<b>56,961</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	9,500	10,769	10,460
固定負債	2,166	2,853	2,952
<b>② 負債合計</b>	<b>11,666</b>	<b>13,623</b>	<b>13,413</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	42,894	44,132	42,346
資本金	6,895	6,895	6,895
資本剰余金	7,120	7,120	7,120
利益剰余金	30,060	31,297	30,567
自己株式	△1,180	△1,181	△2,236
その他の包括利益累計額	△119	852	992
非支配株主持分	—	—	208
<b>③ 純資産合計</b>	<b>42,775</b>	<b>44,984</b>	<b>43,548</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,442</b>	<b>58,607</b>	<b>56,961</b>

### ① 総資産

前年度末と比べ1,646百万円の減少となりました。その主な要因は、前年度末に計上された売上債権(受取手形、売掛金及び契約資産ならびに電子記録債権)の回収による減少3,895百万円、仕掛品等の棚卸資産の増加2,062百万円などによるものです。

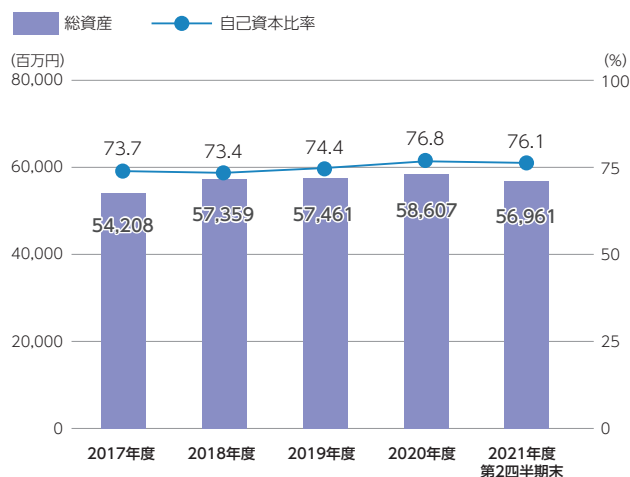
### ② 負債

前年度末と比べ209百万円の減少となりました。その主な要因は、仕入債務(支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務)の支払いによる減少486百万円、その他流動負債の増加510百万円、借入金(短期および長期)の減少180百万円などによるものです。

### ③ 純資産

前年度末と比べ1,436百万円の減少となりました。その主な要因は、自己株式の取得による減少1,055百万円、配当金の支払い等に伴う利益剰余金の減少730百万円などによるものです。

### 総資産・自己資本比率



※2018年度より、2018年2月16日公表の税効果会計基準の改正(企業会計基準第28号)を適用しています。2018年度との比較のため、2017年度の総資産も本改正適用後の数値に修正しています。

## 連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期累計 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	前年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	17,294	17,568	38,668
売上原価	11,502	11,686	25,255
売上総利益	5,792	5,881	13,412
販売費及び一般管理費	5,058	5,485	10,839
営業利益	734	396	2,572
営業外収益	117	117	316
営業外費用	17	38	48
経常利益	834	474	2,840
特別利益	11	37	17
特別損失	11	2	17
税金等調整前四半期(当期)純利益	834	509	2,840
法人税、住民税及び事業税	339	279	878
四半期(当期)純利益	494	230	1,961
非支配株主に帰属する四半期純損失	—	△0	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	494	230	1,961

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	前第2四半期累計 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	前年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,938	2,344	3,041
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△985	△1,085	△2,034
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,100	△2,280	△1,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	57	277
現金及び現金同等物の増減額	858	△963	△218
現金及び現金同等物の期首残高	16,779	17,301	16,779
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	740	—	740
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	18,379	16,338	17,301

### ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は2,344百万円となりました。これは主に、売上債権の減少による資金の増加3,926百万円、棚卸資産の増加に伴う資金の減少1,756百万円によるものです。

### ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1,085百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出846百万円によるものです。

### ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は2,280百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出1,066百万円、配当金の支払い941百万円などによるものです。



# 会社概要・株式の状況・株主メモ

## 会社概要(2021年9月30日現在)

社名	エスペック株式会社
本社	〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
創業	昭和22年(1947年)7月25日
設立	昭和29年(1954年)1月13日
資本金	6,895百万円
従業員数	1,561名(連結) 787名(単体)

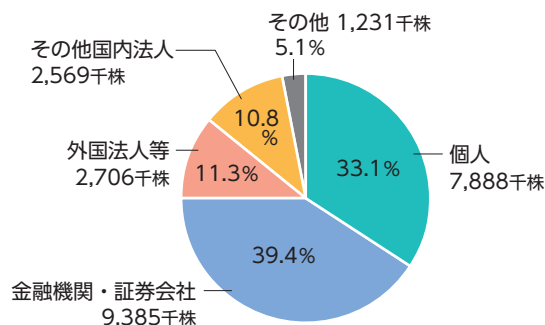
## 役員(2021年6月23日現在)

代表取締役社長	石田 雅 昭
常務取締役	島田 種 雄
取締役 上席執行役員	末久 和 広
取締役 上席執行役員	荒田 知
取締役 執行役員	浜野 寿之
取締役 執行役員	淵田 健二
社外取締役	小杉 俊哉
社外取締役	柳谷 彰彦
常勤監査役	石井 邦和
社外監査役	堤 昌彦
社外監査役	田中 崇公
社外監査役	吉田 恭子
上席執行役員	大島 敬二
執行役員	西谷 淳子
執行役員	渡部 克彦
執行役員	梅原 武彦

## 株式の状況(2021年9月30日現在)

発行済株式総数	23,781,394株 (自己株式1,231,846株を含む)
株主数	5,464名

## 所有者別株式数分布状況



## 大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マシナリ信託銀行株式会社(信託口)	4,552	20.18
エスペック取引先持株会	2,190	9.71
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,756	7.78
エスペック従業員持株会	742	3.29
日本生命保険相互会社	553	2.45
佐々木嘉樹	520	2.30
株式会社みずほ銀行	513	2.27
株式会社立花エレテック	419	1.85
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	342	1.51
因幡電機産業株式会社	310	1.37

※持株比率は自己株式を除いて計算しております。

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
中間配当制度	有
基準日	3月31日および取締役会決議によって あらかじめ公告して臨時に定めた日
株式上場取引所	東京証券取引所(証券コード:6859)
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	0120-288-324(通話料無料) (土・日 祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券株式会社 (本店および全国各支店、フラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)) みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店) 株式会社みずほ銀行(本店および全国各支店) (みずほ証券株式会社では取次のみとなります)
公告方法	電子公告 電子公告掲載の当社ホームページURL <a href="https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html">https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載

## お問合せ先

エスベック株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
Tel: 06-6358-4744 e-mail: ir-div@espec.jp

## IRサイト・メール配信サービスのご案内

IRサイトでは、財務・業績データや株式情報などさまざまな情報をご覧いただけます。また、決算情報やニュースリリース、その他IR情報をメールでお届けしています。

### ■決算説明会ページ

2021年度第2四半期決算について説明動画を配信しています。ぜひご覧ください。



<https://www.espec.co.jp/ir/event/presentation.html>

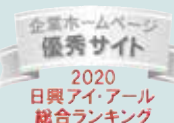
### ■IRメール配信サービス

IR情報をタイムリーにお知らせします。IRサイトよりご登録いただけますのでぜひご利用ください。



<https://www.espec.co.jp/ir/dirnet.html>

### ■IRサイトに対する社外評価



### 表紙・裏表紙の写真について

自然豊かな当社神戸R&Dセンターの写真を用いました。表紙の白い花は技術開発棟の屋上草地で育ったキク科の植物「ヨメナ」です。裏表紙は秋になるとピオトープで見られる赤とんぼ「アキアカネ」です。

証券コード: 6859

エスペック株式会社

